

# 貸借対照表

(平成15年2月28日現在)

(単位：千円)

科 目	金 額	科 目	金 額
<b>(資産の部)</b>		<b>(負債の部)</b>	
<b>流動資産</b>	867,595	<b>流動負債</b>	67,512
現金預金	701,649	未払金	47,342
前払費用	45,782	未払法人税等	90
繰延税金資産	182	賞与引当金	620
未収入金	119,923	その他	19,459
その他	58	<b>固定負債</b>	9,813,759
<b>固定資産</b>	9,118,348	長期借入金	9,500,000
<b>有形固定資産</b>	8,967,240	預り保証金	313,759
建物	3,486,867		
構築物	3,517		
機械装置	24,295		
器具備品	905		
土地	5,451,654		
<b>無形固定資産</b>	871	<b>負債合計</b>	9,881,271
ソフトウェア	380	<b>(資本の部)</b>	
電話加入権	491	<b>資本金</b>	70,000
<b>投資等</b>	150,235	<b>利益剰余金</b>	34,671
差入保証金	2,133	利益準備金	6,704
繰延税金資産	98,139	別途積立金	110,000
その他	49,962	当期末処理損失	82,032
		(うち当期損失)	( 142,686 )
		<b>資本合計</b>	104,671
<b>資産合計</b>	9,985,943	<b>負債・資本合計</b>	9,985,943

## 【 重要な会計方針 】

### 1. 固定資産の減価償却の方法

(1) 有形固定資産 建物は定額法、建物以外については定率法  
なお、主な耐用年数は次のとおりであります。

建物および構築物 2年～43年

機械装置 8年

器具備品 6年～8年

(2) 無形固定資産

ソフトウェア

社内における利用可能期間(5年)に基づく定額法

(3) 長期前払費用

均等償却

### 2. 引当金の計上基準

賞与引当金

従業員に対して支給する賞与の支出に備えるため、将来の支給見込額のうち当期の負担額を計上しております。

### 3. リース取引の処理方法

リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引にかかる方法に準じた会計処理によっております。

### 4. 借入金に対する利息の会計処理

借入金に対する利息については、「営業外費用」(支払利息)として処理しております。

### 5. 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税抜方式とし、還付予定の消費税 114 百万円を「流動資産」の「未収入金」に含めて表示しております。ただし、資産にかかる控除対象外消費税等は、「投資等」の「その他」に計上し、5年間で均等償却しております。

## 【 貸借対照表注記 】

1.有形固定資産の減価償却累計額 173,683 千円

2.担保提供資産	土地	1,555,809 千円
	建物	1,037,475 千円
	機械装置	24,295 千円
	担保提供資産計	2,617,580 千円

上記担保提供資産は、親会社であるアイフル株式会社の金融機関からの借入金に対し担保提供しているものであります。

3.支配株主に対する金銭債権債務	短期金銭債務	746 千円
	長期金銭債務	129,601 千円

4.税効果会計関係

(1)繰延税金資産の発生の原因別の内訳

繰延税金資産(流動)	賞与引当金繰入限度超過額	182千円
	繰延税金資産(流動)合計	182千円

繰延税金資産(固定)	繰越欠損金	98,071千円
	一括償却資産償却限度超過額	67千円
	繰延税金資産(固定)合計	98,139千円

(2)法定実効税率と税効果会計適用後の法人税等の負担率との差異の項目別内訳

当期は、欠損のため掲載しておりません。

5.貸借対照表に計上した固定資産のほか、リース契約により使用している重要な固定資産として、電子計算機及び車両があります。

6.1株当たり当期損失 1,019 円

7.千円未満の端数は、切り捨てて表示しております。